

きょうと通信

NO. 23

2004 年 1 月

事務局:医療法人高木神経科医院デイケアおいけ内

〒604-0845 京都市中京区烏丸通御池上ル都ビル 2 階

TEL075(222)0452 FAX075(222)1052

e-mail kyo-psw@mbox.kyoto-inet.or.jp

11 月例会報告

日 時 平成 15 年 11 月 1 日(土) 14:00～17:00
会 場 京都府職員福利厚生センター3階会議室
テーマ 『臨床ソーシャルワークの実際Ⅱ』家族をみる視点
—自分自身の癖を知ろう—
講 師 臨床心理士 車戸 明子氏

今回の例会では、「家族をみる視点」ということで、臨床心理士である車戸先生にお話をいただきました。

その中で、対人援助を行う者にとって自分自身を知ることが大切であること、そして家族には家族固有の文化があり、今まで常識だと思っていたことが実は家族の中の常識というお話がありました。父親、母親にはそれぞれの文化があり、それらが合わさってまた新たな文化が生まれる。その繰り返しであること。そうした流れや特徴がジェノグラムを作ることによって見えてくることがあります。

また、クライアントの相談を聴いているうちに「○○のせいでこうなった」などクライアントと一緒に援助者も悪者探しをしてしまいがちになる。悪者探しによって出来た関係を固めてしまうと先に進めないのも、そうならないためにも、視点をクライアントだけでなく家族全体に置き、大きな流れの中で捉えることが大切である。そのためにも家族構成や事実関係を知る必要はある等お話をいただきました。

今回は、自分のジェノグラムを作り、車戸先生のオリジナル表(資料①)を使って自分自身を振り返りました。

参加されなかったみなさんもご自身のジェノグラムや資料①の表を作成して、自分の「くせ」を調べては如何でしょうか？

※オリジナルの表は当日配布されたものの一部になっています。

資 料①

育った家族において

1. 自分と父との関係
2. 自分と母との関係
3. 両親と祖父母との関係
4. きょうだいとの関係
順位

現在の家族において

- 自分と子どもの関係
父として
母として
自分と両親との関係
似た順位の子どもの関係

社会生活において

- 目上の男性との関係

目上の女性との関係
権威者との関係
異性の友人との関係
年上
同年
年下

感想

木津保健所 熊取谷 晶さん

車戸先生のお話の中で印象に残ったのが「ジェノグラム」と「三角関係」でした。「ジェノグラム」のお話の中では、三世代にさかのぼって流れの中で家族を理解していくという言葉が印象に残りました。例会後、改めて自身のケース記録を読み返してみると、私が書いたジェノグラムでは、情報が少なく全体的な家族関係をうまく捉えることができていませんでした。意識してジェノグラムを作成できていなかったからだと思います。面接における情報収集の重要性を実感させられました。

次に「三角関係化」についてですが、保健所においては御家族からの相談が多く、その中でどうしてもご家族からの主訴にばかり目がいきつてしまい、家族本来の姿が見えてこないことがあります。一点にばかり集中してしまい、それを線にし、三角形にしていく作業がうまくいかず、その中で PSW がどう動いていけばよいのだろうか日々悩んでいます。ソーシャルワークってなかなか奥深いものだなと考えさせられました。

今年の 4 月に新規採用職員として木津保健所に配属されたのですが、日々仕事に追われる毎日で、自身の知識や技術を高めていくことがおろそかになっていました。今後も PSW 協会の例会に出来る限り出席したいと思います。今後とも宜しくお願いします。

北山病院デイケア 牧内 由美子さん

今回は「臨床ソーシャルワークの実践」ということで、ジェノグラムを活用しながら、お話を聞くことが出来ました。その中でも一番、印象に残ったのは「援助者がクライアントにとっての『悪者探し』をしてはいけない」ということです。以前、あるケースで私はクライアントの家族をクライアントにとっての「悪者」と考えていたことがあり、その家族をどうにかしないといけないと感じたことがありました。しかし、車戸先生のお話を聞いたことにより、「二者関係」だけを見て、ただ単にその家族を「悪者」にするのではなく、幅広く「三者関係」を見ていくことが大切だということを学びました。今後は今回の学びを生かして援助を進めていったり、デイケアのメンバーと関わっていきたくらいなと思っています。

トピックス①

京都府は平成 15 年 9 月 8 日、平成 16 年 5 月に予定する地方機関の再編実施案を発表しました。12 の地方振興局を山城、南丹、中丹、丹後の 4 箇所へ統廃合し、名称を「広域振興局」と変更する。同じく 12 箇所に設置している保健所等は 7 箇所へ再編されます。当初の「再編たたき台」(15 年 5 月)で府南部に 2 箇所(木津・宇治)とした保健所については難病や精神保健などの分野で遠隔地への懸念が相次いだことから京田辺市に分室を設置することになりました。以下は一覧表です

現 行	再 編 後	
向陽	乙訓保健所(向日市)	山城 (宇治市)
宇治	山城北保健所(宇治市)	
田辺	綴喜分室(京田辺市)	
木津	山城南保健所(木津市)	
亀岡	南丹保健所(園部町)	南丹 (亀岡市)
園部		
京北	北桑田支所(京北町)	
福知山	中丹西保健所(福知山市)	中丹 (舞鶴市)
綾部	中丹東保健所(舞鶴市)	
舞鶴		
宮津	丹後保健所(峰山町)	丹後 (峰山町)
峰山		

トピックス②

第 11 回関西アルコール関連問題学会京都大会の事務局を担われた岩倉病院の井上幸久氏より、メッセージを寄せていただきましたのでご紹介します。

第11回関西アルコール関連問題学会京都大会を終えて

大会事務局 岩倉病院 井上幸久

第11回関西アルコール関連問題学会京都大会は、去る12月13日、14日の両日にわたり、364名の参加を得て成功裏に無事閉幕いたしました。多大なご支援をいただいた京都精神保健福祉士協会の皆さまに熱く御礼申し上げます。どうぞ今後とも本学会の活動にご理解を賜りますようお願いいたします。関西アルコール関連問題学会はアルコール医療の普及とアルコール関連問題対策の向上を目指す学会です。職種を問わず全ての関係者に門戸を開いています。皆様のご参加をお待ちしております。

さて今大会は「悩みを語る～原点から拡がりへ～」をメインテーマとして行われました。このテーマには、アルコール関連問題対応のネットワークを進展させたいという願いが込められていました。しかし、それはとりもなおさず、広く精神保健福祉全領域におけるネットワークの進展を目指すことにつながります。当たり前のことですが、私なりの経験から改めてこのことを申し上げたいと思います。私は二十年前に就職し、たまたまアルコール依存症と統合失調症やうつ病といったいわゆる「精神科」の医療の両方に関わることができました。当時アルコール医療は、精神科はもとより医療全般の中で、市民権を得ているとは言えない状況でした。そうした中、アルコール医療の側は、市民権を得るために自らの専門性をアピールし、一方「精神科」の側は、そうしたアルコール医療の動きに対してある種の緊張感を持って接するという雰囲気の時期があったように思います。岩倉病院の中でさえそうした雰囲気がありました。幸いなことにそうした双方の垣根はこの十数年あまりのあいだに段々低くなってきました。個別岩倉病院においては垣根のあったことすら知らないスタッフがほとんどです。一部が専門的に関わるのではなく、多くのスタッフが普遍的に関わる体制が浸透してきたことが、誤解や偏見の是正につながり、普及に大きく貢献したと考えられます。言い換えればそれこそがネットワークであったことに気づきます。京都精神保健福祉士協会は柔軟な考え方を持った新しい世代の仲間がたくさん集う会となりました。そうした新しい会員の皆さんにはアルコールを含めたアディクション領域も「精神科」領域も、区別無く柔軟に、且つ専門的に対応できるネットワークの構築に情熱を傾けていただきたいと思います。

ハレー職場紹介

ここ数年で多くの施設や作業所などが開所しています。しかし、忙しさの中で各施設を見学することが出来ない方も多いのではないのでしょうか。そこでこの通信の中で施設を紹介していきたいと思います。

第1回目は通所授産施設『京都市朱雀工房』です。

「デイケアや作業所に通い、体力や生活リズムを取り戻してきた、そろそろ社会で仕事をしたい」という思いを持つ方が利用するところです。

心の病にかかられ、回復されつつある方が、授産を通して意欲、持続力、体力等をつけ、就労に向けて歩いていくための支援を行ないます。利用者は、主体的に作業に取り組み、目標を実現するために励んでいます。

利用期限は概ね2年で、次のステップにすすんでいただきます。就労先の会社を探したり、社会適応訓練事業所の開拓や開設、共同作業所の設置などを行なったりしてきましたが、最近は京都障害者職業センターと連携してジョブコーチ支援事業を活用して就労をすすめています。

また、同じ建物内に併設している地域生活支援センター「なごやかサロン」、同一法人で運営する「グループホーム賀陽」「グループホーム山ノ内」と協力し、就労支援と生活支援を行っています。

場所は、京都市のほぼ中央に位置する中京区の「京都市こころの健康増進センター」の3階にあります。京都市立病院の裏側にあたります。

作業は、老人配食サービス事業（お弁当の調理・配達）、老人会食サービス事業（お弁当の調理・会食場での接待）、箱の組立、お茶の袋詰、清掃、洗濯（老健施設での洗濯作業）、喫茶（所内でのコーヒーの販売・ひと・まち交流館京都）の喫茶コーナーの運営、かれんショップの運営（お茶・乾燥糸こんにゃく等の内外での販売）等

を行なっています。

定員は20名です。月曜日から金曜日、午前9時から午後4時半まで開設しています。工賃は得られた収益を、作業時間に応じて利用者に還元します。工賃の平均は月2万円から3万円位です。但し、清掃、洗濯の作業は、従事した人のみ工賃が上増しとなります。

利用方法は、①まず、電話で予約を取り、見学をしていただきます②施設実習(3～5日)をする③利用手続き(主治医の意見書、当所が求める文書の提出)をする④入退所に関する委員会で協議し、可否決定をするという順番です。

就労をもって社会参加したい方、生活の向上を目指されている方、どうぞご利用下さい。

掲 示 板

京都市精神保健福祉係移転の案内

障害保健福祉課 精神保健福祉係

旧執務室 市役所本庁舎4階 地域医療課内

新執務室 〒604-8101 京都府京都市中京区柳馬場御池下る柳八幡町65番地 朝日ビル1階

TEL 075-251-2361 FAX 075-251-2940

成年後見セミナー

基礎講座

開催日	時間	場所	内容
1月31日(土)	14時～16時	ひと・まち交流館 京都	成年後見制度の概要について
2月3日(火)	14時～16時	ひと・まち交流館 京都	
2月6日(金)	18時半～20時半	京都市北文化会館	
2月9日(月)	14時～16時	京都市北文化会館	
2月13日(金)	18時半～20時半	ひと・まち交流館 京都	

専門講座

回	開催日	時間	場所	内容
1	2月19日(木)	14時 ～17時	ひと・まち 交流館 京都	後見人の役割について
2	2月26日(木)			任意後見契約の手続きについて
3	3月4日(木)			法定後見の申立て手続きについて
4	3月12日(金)			後見業務の内容について(1)「財産保全面」
5	3月18日(木)			後見業務の内容について(2)「身上監護面」

対象者 高齢者・障害者を介護されているご家族・介護職員

募集定員 基礎講座 各 30 名

専門講座 50 名

受付期間 2004年1月5日から定員に達するまで

参加費 無料

申込方法 電話・ファックス・Eメールのいずれかで、下記の内容をお知らせください

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④性別 ⑤年齢 ⑥電話番号 ⑦参加希望講座名

基礎講座は同じ内容を5回開催するため、希望受講日を指定してください

問い合わせ 京都市長寿すこやかセンター(担当:イケモト・オオハシ)

電話 075-354-8741

ファックス 075-354-8742

Eメール sukoyaka.info@hitomati-kyoto.jp

葵橋ファミリークリニック創設 50 周年記念事業 河合隼雄先生講演会
「現在日本の家族関係」 2004年2月6日(金) (詳細別紙)

ウィメンズカウンセリング京都講座案内

「自己主張トレーニング」

日 時 1 月 20 日(火) 10:30～12:30 スタート 毎週火曜日

受講料 16,000 円 (全 8 回)

「自分を好きになる講座」

日 時 2 月 2 日(月) 18:30～20:30 スタート 毎週月曜日

受講料 16,000 円 (全 8 回)

「摂食障害の娘をもつ」母親の講座

日 時 2 月 13 日(金) 10:30～12:30 スタート 毎週金曜日

受講料 12,000 円 (全 6 回)

会 場 ウィメンズカウンセリング京都

定 員 10 名(最低成立人数5名)

主催・問合せ ウィメンズカウンセリング京都

〒602-8027 京都市上京区衣棚通下立売下ル東立売町 203

TEL 075-222-2133 FAX 075-222-1822

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/w-c-k/>

*会場、定員、申し込み先については 3 講座とも同様です。

「ACT を京都に！」フォーラム

日 時 2004年2月21日(土)15:00～17:00

場 所 京都全日空ホテル

〒604-0055 京都市中京区堀川通二条城前

TEL 075-231-1155 FAX 075-231-5333

京都メンタルケア・アクション、日本イーライリリー株式会社 共催 ※詳細別紙同封

平成 15 年度精神障害者職業自立啓発事業 北信越・近畿ブロックセミナーの開催

日 時 2004年 3 月 13 日(土)12 時～14 日(日)15 時

場 所 大阪市中央区民ホール(メイン会場)

大阪産業創造館(14 日基礎セミナー会場)

三井ガーデンホテル大阪(宿泊・ナイトセッション)

参加費 セミナー参加費 一般 1,500 円 当事者・家族 800 円

14 日昼食弁当(希望者) 800 円

13 日ナイトセッション(希望者) 5,000 円

宿泊(シングル洋室)14 日朝食付(希望者) 9,030 円

申し込み締め切り 2 月末日

※詳細(開催要項と申込用紙)は事務局にお問い合わせください

2 月例会のご案内

日 時 2004 年 2 月 7 日(土) 午後 2 時～5 時まで

会 場 京都府職員福利厚生センター 3 階会議室

内 容 精神保健福祉士の倫理について

ー 倫理的センスと倫理的スキルを身につけよう ー

講 師 村本 詔司 氏(神戸市外国語大学 教授)

日常の支援活動や業務のなかで「倫理」について考えることはありますか。話題にしていることが倫理問題だとは気づかなかつたり、何か引っかかっているけれど流してしまったり、倫理にかかわる問題だと思っても、どう対応してよいのかわからなかつたり・・・やっかいなものになっていませんか。

2 月例会は、『援助専門家のための倫理問題ワークブック』の翻訳(近刊)を終えられたところの村本先生をお招きして、専門職にとって倫理とは何か、どうしてやっかいなのか、といったことを整理していただき、模擬事例をとおしてグループで「倫理」について考える予定です。多数のご参加をお待ちしています。

倫理についての著書・訳書紹介

『心理臨床と倫理』 朱鷺書房 1998 年出版(品切れオンデマンド版購入可能)

『援助専門家のための倫理問題ワークブック』 ジェラルド・コウリー他著 (村本詔司監訳、
浦谷計子・殿村直子訳) 創元社より近刊予定

村本詔司先生 HP <http://www.5d.biglobe.ne.jp/~shojimur/>

3 月例会のお知らせ

3 月例会は、都合により 3 月 13 日(土)に変更になります。ご注意ください。

事務局からのお知らせ

会費納入について

今年度の会費をまだお納めいただいていない方、至急、同封の振込用紙にてお振込みいただきますようお願いいたします。(例会参加時にお持ち下さってもけっこうです。)

法務省から平成16年度社会復帰調査官採用案内がありました。

詳細はホームページにアクセスください。 <http://www.moj.go.jp/HOGO/hogo16.html>

「精神科ソーシャルワーカーの精神保健実践活動」調査(2002年実施)の報告

京都、大阪の PSW の協力を得、60%の回収率を得、調査の一部を「PSW のエンパワメント実践における精神保健福祉活動」という論文にまとめたところ、日本精神保健福祉士協会の協会誌(Vol.34/No.4/通巻56号)に掲載されることとなった。協会員の協力に感謝する。報告書はでき次第郵送するとの報告が、桃山学院大学 栄 セツコ氏からありました。

会員数 2004年1月15日現在 189 名

編集後記

今回からリレー職場紹介というコーナーを設けました。ぜひこの機会に他機関を知っていただき、また皆様が勤めている職場をご紹介ください。また、学会や研修会に参加された方の情報提供やご感想も募集しています。なお、リレー職場紹介は原稿を書いていたいただいた方に次の職場を指名していただいています。学会等の情報・感想は事務局までご連絡ください。

高谷・森広